

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 4 月 10 日 16 時～18 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 小葉竹、辻、鶴飼、片田、渡辺、清水、若井、伊藤、及川、半井、松本、金井、蔡

議事内容

■入試委員会

1. 専門高校・総合学科推薦枠の定員化
専門高校・総合学科推薦枠の定員化をする。定員は 1 名である。
2. 推薦入試枠の拡大
推薦入試枠は拡大しない。専門高校・総合学科推薦枠（1 名）と併せて 7 名で、一般推薦の定員は 6 名である。

■評価委員会

- ・18 年度後期授業の授業アンケート結果についての学生との意見交換会を 4 月 10 日 15:30 から 16:10 まで行った（意見交換会の報告書は伊藤が別途作成）。
- ・工学部全体で実施している授業評価アンケートに対し、授業担当教員が報告書を次回から作成することにした。この報告書は学科独自に行い、授業の改善点や学生への意見要望等を記載して、学生へフィードバックするものである。アンケート実施科目が多くなりすぎて、アンケートに対する学生の意識が低くならないように次回注意する。

■広報委員会

- ・地域貢献事業である工学クラブ（小中高向け）およびアースデイ in 桐生（地域住民と市民団体向け）について説明
- ・高校からの学科および研究室見学、高校への説明会、それぞれについての注意事項説明

■1 年担任

- ・6 月 16 日 17 日の 1 泊 2 日で、新入生合宿研修を行う。今年度は、施設見学を行う予定。

■教務委員会

- ・社会環境工学概論の分担は配布資料の通り。辻先生が取りまとめたとおり、建築学概論の内容を 4 名が担当する。
- ・成績処理等に関する問題は、前任者の鶴飼先生にご協力いただき、問題点を洗い出し、対策を検討する。

■国際交流・学生支援委員会

- ・昨年度までの教務委員会の一部業務を担当する委員会が新設された。

■カーテン修理

- ・工学部の経費で行った
- ・A1 教室は外れたブラインドの取り付け、固定強化
- ・A2 教室は全カーテン交換（グレー、ヒダの少ないプレーンタイプ）と全カーテンレール交換

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 5 月 8 日 15 時～15 時半

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 小葉竹、渡辺、若井、伊藤、及川、半井、松本、金井、蔡、李

議事内容

■教務委員会

- ・ベストティーチャー賞の追加候補となる成績認定者の助教の先生は松本先生のみ。
- ・次年度からの学修原論のタイトル等については変更の予定無し。

■1 年担任

- ・担任の半井の都合により、当日の引率責任者は李先生にお願いする。

■JABEE

- ・教室に掲示する JABEE 標語について、新しい標語とし、作成は鶴飼先生と金井先生に相談の上お願いする。

■入試委員会

- ・平成 20 年度工学部第 3 年次編入学試験に係る面接委員等 日時：6 月 15 日（金）

■その他

- ・次回教室会議は 6 月 12 日の 15 時から行う。次回以降から開始時刻は 15 時とする。

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 6 月 12 日 17 時半～19 時半

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 小葉竹、辻、鶴飼、片田、渡辺、若井、及川、伊藤、松本、金井、蔡、李（敬称略）

議事内容

■教務委員会

- ・大学院博士前期課程入学志願者の推薦について、4 年進級時の成績が概ね上位半分以上の学生については、推薦入学を認めた。

■広報委員会

- ・工学部見学会（今年度第一回目は 7 月 28 日(土)開催）の誘導担当教員として、金井、松本、李、伊藤（敬称略）。
- ・企業懇談会（8 月 29 日(水)開催）の形式は他学科と同様の形式（ポスター発表形式）を採用する。

■工学部関連

- ・生産システム工学科に関連して平成 22 年度までの予算、支出に関する内容が説明された（6 月 6 日予算委員会資料にもとづいて）。内容のわかりにくい箇所が指摘され、予算委員会へ問い合わせることになった。

■1 年生

- ・6 月 16 日・17 日の新入生合宿について。引率担当教員として伊藤、李、グループディスカッションに参加する教員として、及川、松本、伊藤、金井、李。

■入試委員会

- ・平成 20 年度第 3 年次編入学試験実施要綱を説明した。
- ・平成 20 年度第 3 年次編入学試験の志願者数：3 名
実施期日：6 月 15 日
選考方法：面接のみ

■その他

- ・期末試験において、3 名の学生が不正行為を行ったため、無期停学の処分を下すこととした。

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 7 月 10 日 15 時～17 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出者席 小葉竹、辻、鶴飼、片田、渡辺、若井、及川、半井、松本、金井、蔡、李（敬称略）

■教務委員会

- ・不正行為について
教務委員会で承認された。今後、代議員会で審議される。
- ・成績処理
教務委員会および学務係で改善方法を議論している。
- ・H18 編入生の卒業要件
H18 編入生の卒業要件について確認を行った。
- ・カリキュラム再編
1 年次への専門科目の移行は、1 年次の学習態度や再履修の困難さを鑑みると不適切。むしろ、2 年次前期への前倒しなど、桐生開講科目の再検討が適当。学生が必要最低限の単位しか取得しないことへの何らかの対応が必要。

■大学院教務委員会

- ・大学院教務委員会からの以下の審議事項について議論した。
- ・社会人ドクターの審査基準を工学研究科で統一することについて
- ・大学院授業評価を実施することについて
- ・マルセイユ大学との博士号の Double Degree に関する提携について
メールにて、今年度の Dr 希望者数と大学院入試の出題について審議するとの連絡をした。

■入試委員会

- ・今年度博士課程の入学試験の受験を希望している学士取得者について、入学資格の審査を行った。

■3 年生

- ・本年度の研究室配属について、研究室紹介を 10 月/17 日、研究室配属決定を 10 月 31 日に決定した。
- ・過年度生が均等に配属されるよう、配属方法を再検討することとなった。

■JABEE に関して

- ・自己点検書の作成に関する作業の現状確認を行った。

■施設・防災環境安全小委員会

- ・防災訓練について 10 月 24 日に行う予定。
- ・工学部省エネ強化週間の実施について 8 月 11 日-8 月 19 日
- ・断水・停電について 9 月 14 日（7 号館）

■その他

- ・学生の不正行為防止策について検討した。

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 10 月 9 日 16 時～19 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 小葉竹, 辻, 渡辺, 清水, 若井, 伊藤, 及川, 半井, 松本, 蔡, 李

議事内容

■建築士（辻）

- ・建築士受験資格の更新状況に関して報告が行われた。

■施設・安全（李）

- ・防災訓練実施概要

10 月 24 日（水）14 時から 16 時まで行う。

役割分担を確認して、救助隊長に蔡先生の代わりに伊藤先生にする。

介護者の募集

- ・7 号館 2 階の改修に当たっての意見聴取

- ・省エネパトロールの調査報告

空調フィルターの清掃を呼びかける。

■教務（半井）

- ・学修原論発表会

例年通り学園祭中の土曜日の 10 月 20 日（土）13 時～14 時半で、総研 301 号室で行う。

小葉竹学科長、教務委員の半井、各研究室から大学院生 1 名が採点を行う。

- ・専門科目開講時期

前回教室会議およびメール審議の概要について、報告を行った。

方向性に反対する意見は無かったため、前倒しを行う方向で、最終案を半井が作成し、次回承認を得た上で、具体的な作業に取り掛かる。

■実験（半井）

- ・実験の結果報告と今後の今後の対応が承認された。

■研究室配属（松本）

- ・本年度の研究室配属の方法は、進級困難者が参加できない旨を新たに明記するのみの変更とし、昨年と同様の方法で配属を行うことを決定した。ただし、極端な格差が発生した場合には改めて議論も場を持つことを確認した。

■入学試験（蔡）

- ・入試に関する確認を行った。

■その他（伊藤）

- ・玄関カーペットについて

安全衛生のために 2F 玄関と 1F 入口のマットの購入を施設管理係に依頼する。

- ・次回 11 月 13 日（火）16:00～

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 11 月 13 日 16 時～18 時半

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 小葉竹, 辻, 鶴飼, 渡辺, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 李, 金井, 蔡

議題

■評価委員会（伊藤）

1. 授業評価アンケートはこれから 2 週間ほどで実施。
前期と後期で全教員が 1 回以上の評価を受ける。
2. 公開授業期間 12 月 3 日（月）～12 月 14 日（金）
3. ベストティーチャー賞の選考は本学科は来年度が対象。
4. 中期評価関連の実績集計の依頼
 - a) 学生（院生）の学会発表や受賞等の研究室ごとの集計
 - b) 共同研究イノベーションセンターを中心とした産学官連携の実績

■教務委員会（半井）

- ・科学技術論の講師
例年通り、山口氏と樋口氏にお願いをしてみる
- ・技術者原論担当者
例年通り教務委員が担当する。太田キャンパスを含めて、毎年、1 名で担当する。内容には、必ず技術者倫理を含めること。大量の学生評価のためにはマークシートの活用がお勧め。
- ・カリキュラム
改革案が承認され、WG を組織して、改編案を作成することになった。

■入試委員会（蔡）

- ・平成 21 年度 3 年次編入学試験定員が 3 名から 2 名に変更される。
- ・平成 20 年度推薦入試の方法について承認された。

■技術英語（若井）

- ・来年度の現代 GP の教材購入について
学科としては、できれば国際会議ポスター等を印刷するための大判プリンタを希望したい。
- ・現代 GP 採択期間の終わる平成 21 年度以降の「技術英語」の実施方法については、今後学科内で早急に検討を進める。

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2007 年 12 月 26 日 14 時～15 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 片田, 鶴飼, 渡辺, 若井, 及川, 伊藤, 半井, 金井, 蔡

議題

■判定会議 (片田)

- ・大学院入学試験の可否判定を行った。

■評価委員会 (伊藤)

- ・工学部案内における学科案内の改訂について検討中である。
担当教員は, 片田・半井の両人をもう一年継続する。ただし写真は取り替える。
表紙ページの写真などは, 学科全体をイメージできるようなものを考える。
その他必要な情報は各研究室に提供を求める。

■教務委員会 (半井)

- ・来年度のカリキュラムを作成中である。
2 年生と 3 年生の必修科目が同一時間帯に開講されているものについては, 担当教員に対応を相談する。

■その他

- ・次回教室会議は予定通り 1 月 8 日(火)16 時～開催する

日 時 2008 年 1 月 8 日 16 時～18 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 小葉竹、鶴飼、渡辺、片田、清水、若井、及川、伊藤、半井、金井、蔡、松本、李

議題

■卒業論文および修士論文の要旨（伊藤）

- ・今年度より図表入り 2 ページのフォーマットとする。
- ・提出は 2 日前の正午まで。研究室ごとにまとめた PDF ファイルをメール提出。
- ・提出を確認後、1 ファイルにまとめて全教員にメール配布。
- ・発表会当日の論文本文の回覧はしない。

■卒業論文および修士論文の発表者賞（半井）

- ・JABEE で指摘された点を修正した案を次回の教室会議で提案する。
- ・次年度からの担当者は、学部および大学院の教務委員とする。今年度までは半井。

■評価委員会（伊藤）

- ・院生の学術論文数の再確認
- ・授業アンケートの学生との懇談会は 1 月 15 日 16 時から

■学部教務委員会（半井）

- ・学部教務委員会担当の TA は担当教務委員が適当に選定。
- ・授業料未納者が大量にいる。卒業見込み者は 3/10、その他は 3/31 までに支払う必要がある。リストは、後日配布する。
- ・転学科は 2 月末まで。
- ・工学部規定
- ・大講義室の改修

■1 年担任（半井）

- ・物理の学力不足の学生について

■大学院教務委員会（片田）

- ・D コースの定員充足のため、2 次試験(3/4 実施)の受験者勧誘を各研究室に依頼した。
- ・大学院講義の時間割作成に関する回覧を近日回すので、記入願いたい旨の依頼をした。

■大学院の科目開講について（伊藤）

- ・専攻教員担当科目は前期開講、隔年開講、毎年全分野（5 分野）開講へ。

■測量学実習（金井）

- ・指導充実のため、少人数教育を実現するとともに、建設工学実験と時間が重ならないようにして技術職員のサポートを受ける。

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2008 年 2 月 12 日 16 時～17 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 小葉竹、辻、渡辺、片田、清水、若井、及川、伊藤、蔡、松本

議題

■入試委員会（蔡）

- ・AO 入試の導入について
- ・後期試験の面接担当教員
- ・判定会議の開始日時の連絡

■卒業研究の評価（伊藤（半井））

- ・シラバスの 7 項目に沿った評価表を用意する。指導教員が評価する。
- ・卒論発表会の採点表はそのまま、変更はしない。

■停学中の学生の復学について（小葉竹（半井））

■大学院試験（辻先生）

- ・受験者 1 名あり

日 時 2008 年 3 月 18 日 10 時～12 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 辻、鶴飼、渡辺、片田、清水、若井、及川、伊藤、蔡、松本、金井、李

議題

■後期日程入試試験判定（蔡）

- ・平成 20 年度後期日程入学試験判定を行い、12 名の合格者及び 7 名の追加合格候補者を判定した。

■後期日程の定員（辻）

- ・後期日程入試の定員について議論し、現在の定員を続けることを決定した。

■JABEE 関連（学務委員 若井・及川）

- ・平成 20 年度以降の教育改善システム（PDCA サイクル）について、いくつかの提案があり、細部の修正以外は基本的に了承された。主な了承事項は以下の通りである。
- ・PLAN と ACTION に寄与する組織として実質的に存在する「課題別 WG」を明文化する。
- ・DO を担当する組織記述から教育システム検討委員会を外す。それに伴い教育システム検討委員会の内規の表現を一部改訂する。
- ・外部評価を所掌する組織として「外部評価会議」を追加する。
- ・「課題別 WG」の内規を制定する。
- ・「外部評価会議」の内規を制定する。
- ・PDCA 事例が確実に記録されるように「課題別 PDCA 追跡カルテ」を導入する。原則として課題別 WG の主査がこれを記録と保管する。例えば、半井先生にリードしていただいている学生実験の改善検討 WG などがこれに当たるのではないかと。
- ・昨年度より全学的な個人業績評価システム（教育貢献度の評価を含む）が導入されたため、従来の学科内措置（教育貢献度に応じた研究費配分制度）をこれに置き換える。
- ・年間スケジュール表に新たに「外部評価会議」のカラムを追加し、そこに「科学技術論」の前後に行う外部評価会議、企業懇談会の際に行う外部意見収集の項目を加える。以上のホームページの更新を松本先生に願う。

■技術英語（若井）

- ・現代 GP 採択期間の終わる平成 21 年度以降の同科目の実施方法について、議論がなされた。ご本人の提案により、鶴飼教授が同科目を担当することとなった（副担当者として、うち 4 回の講義を若井と蔡助教が 2 回ずつ担当）。授業内容について、有限要素法を解説する英文書籍をテキスト採用することなど、今後、細目を鶴飼教授が検討することになった。

■学科の方向性（片田）

- ・本専攻の特色をいかに、教員が研究室の垣根を越えて、実施できる研究プロジェクトについて議論した。

■日本-ベトナムツイニングプログラムについて（渡邊）

- ・長岡技大からの説明内容が報告された。

平成 19 年度 社会環境デザイン工学科 教室会議 議事録

日 時 2008 年 3 月 25 日 10 時～13 時

場 所 社会環境デザイン工学科会議室

出席者 渡邊, 辻, 鶴飼, 清水, 若井, 及川, 伊藤, 松本, 金井, 李, 半井

議題

■進級判定会議（半井）

- ・進級規定に従い，進級判定を行った．

■研究室配属（松本）

- ・規定に従い，配属人数の変更は，「流域→環境」の 1 名のみ可能であることを確認した．新 2 年生の研究室配属時（H21 年度）からは，成績の質に加えて取得単位数を加味することを再確認し，進級ガイドンスにて説明することとなった．

■建築士の受験資格について（辻）

- ・現時点での認定は平成 19 年度および 20 年度入学者を対象とした仮のものである．平成 21 年度以降の入学者に対しては，今年の秋ごろに本申請が必要．申請の是非も含めて，4 月の教室会議にて学科の方針を決定する．

■ツイニングプログラム（渡邊）

- ・長岡技大からの説明内容が報告された

■建設工学実験（半井）

- ・課題別 WG から本年度の実施状況が説明され，次年度も同様の内容を継続することを確認した．

■進級規定（半井）

- ・新年度用の進級規定の見直しを行った．

■その他

- ・次回の教室会議は 4 月の第 2 週．詳細は，渡邊新学科長からメールで連絡．